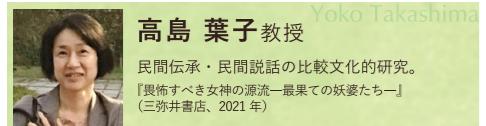


特任教員

ドイツ語圏言語文化コース
ジモン・エルトレ 特任准教授
Simon OERTLE

フランス語圏言語文化コース
ジュリアン・ムナン 特任講師
Julien MENANT

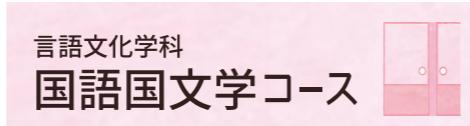
表現文化コース
江村 公 特任准教授
Kimi EMURA



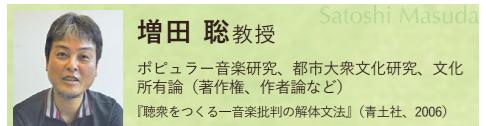
高島 葉子 教授
民間伝承・民間説話の比較文化的研究。
『畏怖すべき女神の源流—最果ての妖魔たち—』(三井書店、2021年)



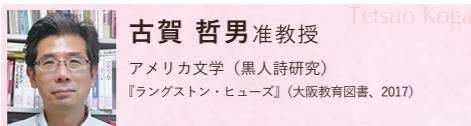
イアン・リチャーズ准教授
New Zealand Literature
共著『Vision Beyond Visual Perception』(Cambridge Scholars Publishing, 2017)



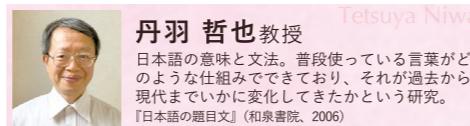
言語文化学科 国語国文学コース



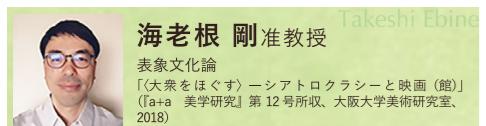
増田 聰 教授
ポピュラー音楽研究、都市大衆文化研究、文化所有論（著作権、作者論など）
『聴衆をつくる—音楽批判の解体文法』(青土社、2006)



古賀 哲男 准教授
アメリカ文学（黒人詩研究）
『ラングストン・ヒュース』(大阪教育図書、2017)



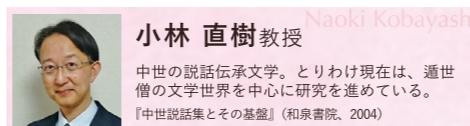
丹羽 哲也 教授
日本語の意味と文法。普段使っている言葉がどのような仕組みでできており、それが過去から現代までいかに変化してきたかという研究。
『日本語の題目文』(和泉書院、2006)



海老根 剛 准教授
表象文化論
『大衆をほぐす—シアトロクラシーと映画（館）』(『a+a 美学研究』第12号所収、大阪大学美術研究室、2018)



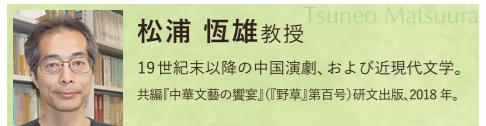
内丸 公平 准教授
シェイクスピアのグローバルな翻案・教育にかかる分野
共著『Shakespeare in East Asian Education』(Palgrave, 2021)



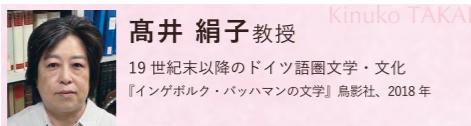
小林 直樹 教授
中世の説話伝承文学。とりわけ現在は、遁世僧の文学世界を中心に研究を進めている。
『中世説話集とその基盤』(和泉書院、2004)



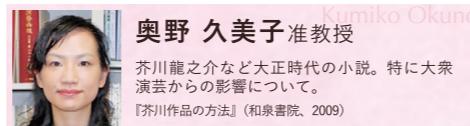
文化構想学科 アジア文化コース



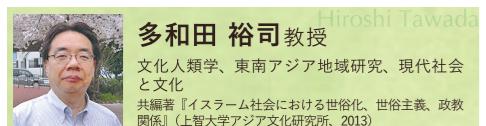
松浦 恒雄 教授
19世紀末以降の中国演劇、および近現代文学。
共編著『中華文藝の饗宴』(『野草』第百号)研文出版、2018年。



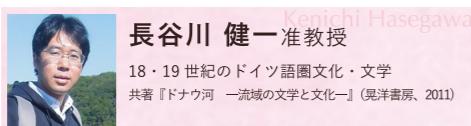
高井 絹子 教授
19世紀末以降のドイツ語圏文学・文化
『インゴルツ・バッハマンの文学』鳥影社、2018年



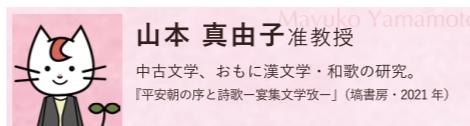
奥野 久美子 准教授
芥川龍之介など大正時代の小説。特に大衆演芸からの影響について。
『芥川作品の方法』(和泉書院、2009)



多和田 裕司 教授
文化人類学、東南アジア地域研究、現代社会と文化
共編著『イスラーム社会における世俗化、世俗主義、政教関係』(上智大学アジア文化研究所、2013)



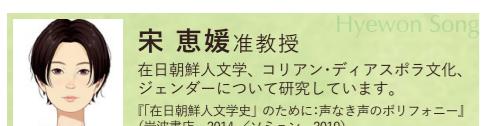
長谷川 健一 准教授
18・19世紀のドイツ語圏文化・文学
共著『ドナウ河 一流域の文学と文化』(見洋書房、2011)



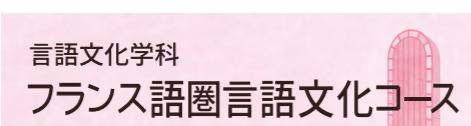
山本 真由子 准教授
中古文学、おもに漢文学・和歌の研究。
『平安朝の序と詩歌—宴集文学放』(鳴書房、2021年)



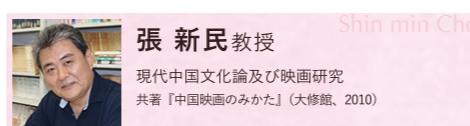
文化構想学科 中国語中国文学コース



宋 惠媛 准教授
在日朝鮮人文学、コリアン・ディアスボラ文化、ジェンダーについて研究しています。
『在日朝鮮人文学』のために声なき声のボリオニー』(岩波書店、2014／ソミヨン、2019)



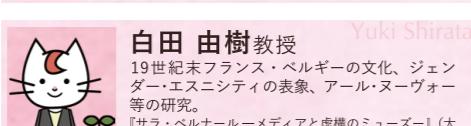
信國 萌 講師
現代ドイツ語学、言語学
「事象を頂に取るドイツ語形容詞と事象を表す語句の統語的実現と意味的特性—事象のアスペクトの解釈の対立を手掛かりに—」(東京外国语大学博士論文、2019)



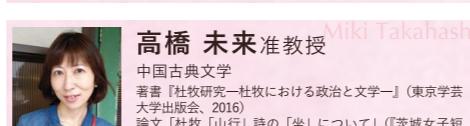
文化構想学科 文化資源コース



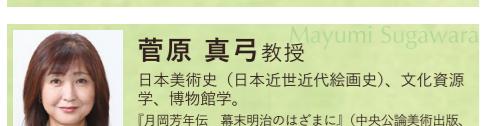
小田中 章浩 教授
演劇史、比較演劇、表象文化論
Japanese Political Theatre in the 18th Century (Routledge, 2020)



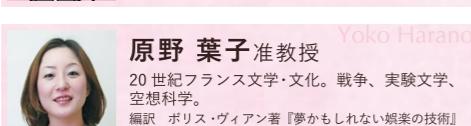
白田 由樹 教授
19世紀末フランス・ベルギーの文化、ジャンダー・エニシティの表象、アール・ヌーヴォー等の研究。
『サラ・ベルナール—メディアと虚構のミューズ』(大阪公立大学共同出版会、2009)



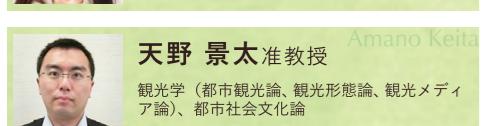
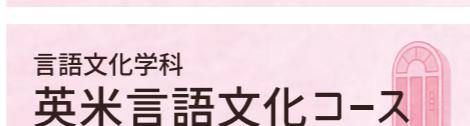
高橋 未来 准教授
中国古典文学
著書『杜牧研究—杜牧における政治と文学』(東京学芸大学出版会、2016)
論文『杜牧「山行」詩の「坐」について』(茨城女子短期大学紀要) 第46集、2019)



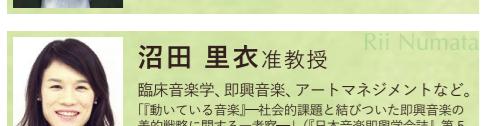
菅原 真弓 教授
日本美術史（日本近世近代絵画史）、文化資源学、博物館学。
『月岡芳年伝 幕末明治のはざまに』(中央公論美術出版、2018、第69回芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞)



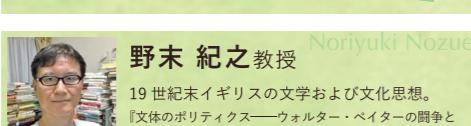
原野 葉子 准教授
20世紀フランス文学・文化。戦争、実験文学、空想科学。
翻訳 ポリス・ヴィアン著『夢かもしれない娯楽の技術』(水声社、2014)



文化構想学科 表現文化コース



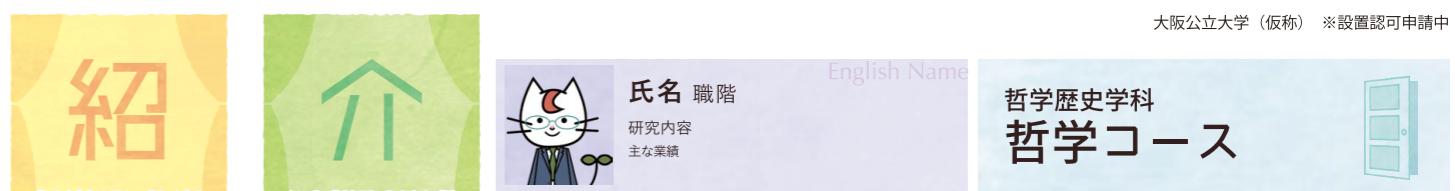
沼田 里衣 准教授
臨床音楽学、即興音楽、アートマネジメントなど。
『動いている音楽—社会的課題と結びいた即興音楽の美的戦略に関する一考察』(『日本音楽即興学会誌』第5巻、2020)



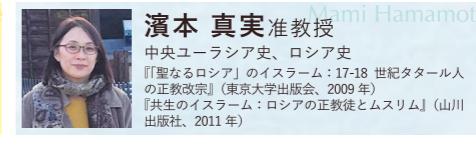
野末 紀之 教授
19世紀末イギリスの文学および文化思想。
『文体のポリティクス——ウォルター・ベイターの闘争とその戦略』(論創社、2018)



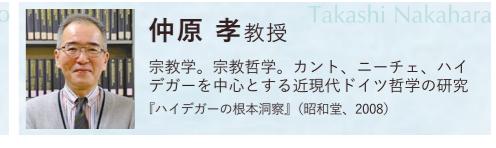
豊田 純一 教授
認知科学、歴史言語学、文化人類学
共編著『Vision Beyond Visual Perception』(Cambridge Scholars Publishing, 2017)



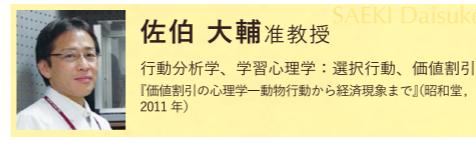
川邊 光一 教授 Kouichi Kawabe
生理心理学：高次認知機能（特に学習・記憶）
の脳内機構、精神疾患動物モデルに関する行動薬理学的研究
『Effects of early postnatal MK-801 treatment on behavioral properties in rats: Differences according to treatment schedule』(Behavioral Brain Research, Vol.370, 2019)



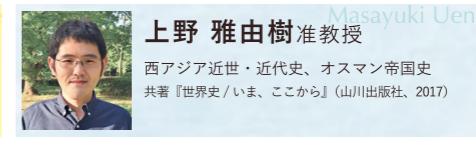
濱本 真実准教授 Tomomi Hamamoto
中央ユーラシア史、ロシア史
『聖なるロシア』のスラーム：17-18世紀タール人の正教改宗』(東京大学出版会、2009)
『共生のイスクワ：ロシアの正教徒とムスリム』(山川出版社、2011)



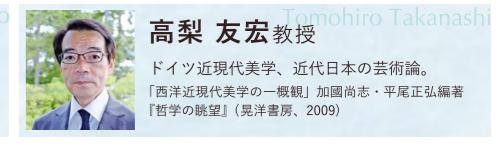
仲原 孝 教授 Takashi Nakahara
宗教哲学。カント、ニーチェ、ハイデガーを中心とする近現代ドイツ哲学の研究
『ハイデガーの根本洞察』(昭和堂、2008)



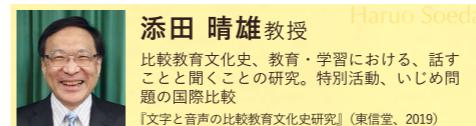
佐伯 大輔准教授 SAEKI Daisuke
行動分析学、学習心理学：選択行動、価値割引
『価値割引の心理学—行動から経済現象まで』(昭和堂, 2011)



上野 雅由樹准教授 Masayuki Ueno
西アジア近世・近代史、オスマン帝国史
共著『世界史／いま、ここから』(山川出版社、2017)



高梨 友宏 教授 Tomohiro Takanishi
ドイツ近現代美学、近代日本の芸術論。
『西洋近現代美学の一概観』加藤尚志・平尾正弘編著
『哲学の眺望』(晃洋書房、2009)



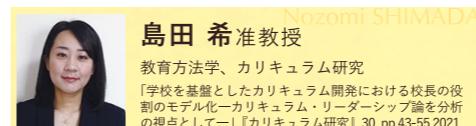
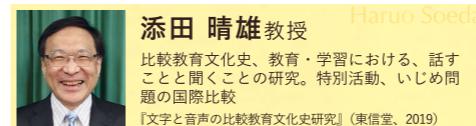
添田 晴雄 教授 Haruo Soeda
比較教育文化史、教育・学習における、話すこと聞くことの研究。特別活動、いじめ問題の国際比較
『文字と音声の比較教育文化史研究』(東信堂, 2019)



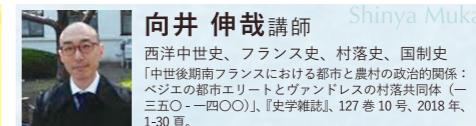
橋本 博文准教授 Hisamitsu Hashimoto
社会心理学：集団力学、集団内利他行動、心の文化差
『Two faces of interdependence: Harmony seeking and rejection avoidance』(Asian Journal of Social Psychology, 16, 142-151, 2013, Wiley-Blackwell Publishing Ltd, 共著)



北村 昌史 教授 Masaumi Kitamura
近現代ヨーロッパ、とくにドイツの社会史
南直人・谷口健治・北村昌史・進藤修一編『はじめて学ぶドイツの歴史と文化』ミネルバ書房、2020年



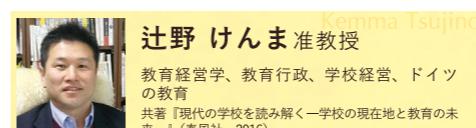
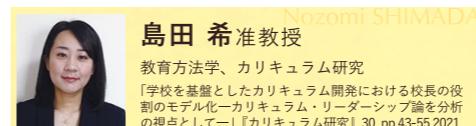
島田 希准教授 Nozomi SHIMADA
教育方法学、カリキュラム研究
「学校を基盤としたカリキュラム開発における校長の役割のモデル化—カリキュラム・リーダーシップ論を分析する視点として—」『カリキュラム研究』30巻、pp.43-55, 2021



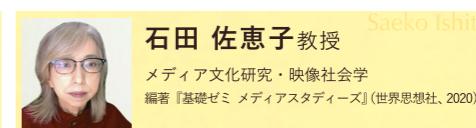
辻野 けんま准教授 Keiji Tsujino
教育経営学、教育行政、学校経営、ドイツの教育
共著『現代の学校を読み解く—学校の現在地と教育の未来』(春風社, 2016)



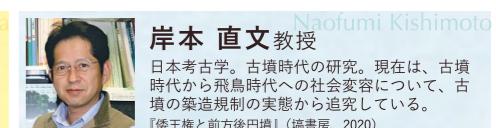
石田 佐恵子 教授 Saeko Ishita
メディア文化研究・映像社会学
編著『基礎ゼミ メディアスタディーズ』(世界思想社, 2020)



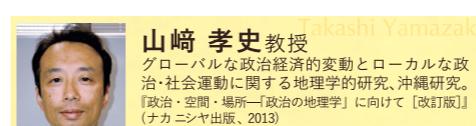
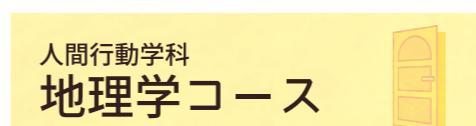
川野 英二 教授 Eiji Kawano
社会政策の社会学・比較社会学。
共訳 セルジュ・ボーグ著『貧困の基本形態—社会的紐帯の社会学』



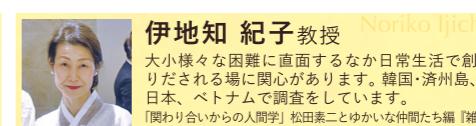
伊地知 紀子 教授 Hideaki Sasajima
大小様々な困難に直面するな日常生活で創りだされる場に心がけあります。韓国・濟州島、日本、ベトナムで調査をしています。
『開けらるから人の間接』(松田素二とよひな仲間たち編『難草たちの奇妙な声—現場で何だ!』)風雲社、2011, 357-374



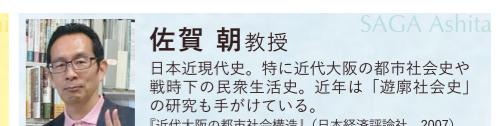
佐賀 朝 教授 Toru Iwashita
日本近現代史。特に近代大阪の都市社会史や戦時下の民衆生活史。近年は『遊廓社会史』の研究も手がけている。
『近代大阪の都市社会構造』(日本経済評論社、2007)



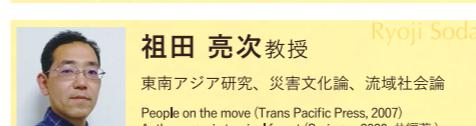
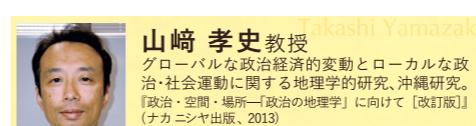
祖田 亮次 教授 Ryoji Soda
東南アジア研究、災害文化論、流域社会論
People on the move (Trans Pacific Press, 2007)
Anthropogenic tropical forest (Springer, 2020, 共編著)



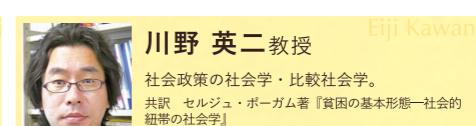
笹島 秀晃准教授 Hideaki Sasajima
都市社会学。
『ニューヨーク市のSoHo地区における芸術家街を機縁としたジョントリフィケーション：1965-1971年における画廊の集積過程に着目して』『社会学論評』67(1)2016



齊藤 純子准教授 Hiroko Saito
日本近世史。和泉地域の村落社会や領主支配、大阪の都市社会史について研究している。
『畿内諸代藩の陣屋と藩領社会』(清文堂出版、2018)



木村 義成准教授 Yoshinari Kimura
地理情報システム、保健医療分野におけるGISの応用研究
「大阪市における消化出血患者の搬送特性からみた地域グループ」木村義成・史林 103(1), pp.215-241, 2020.



平山 亮准教授 Ryo Hiray